

## 東播磨地域委員会

### 取材報告

第5回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 「知的障害者サッカーの部」

(第20回ひょうご・ゆうあいスポーツ大会)

日時 5月28日(土) 10:00~14:30

場所 三木総合防災公園

主催 兵庫県、兵庫県知的障害者施設協会、財団法人兵庫県手をつなぐ育成会、  
財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

先日5月28日(土)、三木総合防災公園で第5回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会が行われた。

競技種目は陸上競技・フライングディスク、サッカー、ソフトボール、フットベースボールの5競技で午前10時の開会式を皮切りに各会場で熱戦を繰り広げた。

競技は11人制と8人制に分けられており11人制サッカー5チーム、8人制サッカー7チームで時折激しい雨が降る中、熱戦を繰り広げた。

試合は選手達が互いに声を掛け合いチームプレーがしっかり出来ているチームが勝ち残り優勝を争った。コーチの声もしっかりと耳に入れながらのプレーは練習の成果が見て取られた。

キックオフの対応やオフサイド、危険行為時のイエローカード等反則もきっちりとしており審判の毅然とした態度が印象に残った。

各チームの試合は非常に緊迫した接戦が多く見られ選手たちのボールを追いかけ最後まで諦めないプレーに会場からは惜しめない拍手が起こっていた。

試合終了後にはお互いに握手を交わし双方のチームベンチに挨拶をするさわやかさが好印象であった。

また、競技終了後にはサッカーゴールや用具等を選手たちが片付け各学校での指導が徹底されており競技以外でのマナーの良さが目立った。

各チームの指導者が交代で審判を務める等、各支援学校の協力もしっかりと出来ていた。

知的障害者サッカーは支援学校卒業後も継続して続けられるよう卒業生のチームを作るなど支援学校同士で連携し合っているとのことで今後も発展していくと思われる。



報告者

東播磨地区委員会 小寺 正健